

有限会社 小松鋳型製作所

[業種] 金属製品製造業

事業
計画名

マシニングを活用した
社内一貫生産体制の構築による生産性向上

- ◆代表者名 井家 洋
- ◆設立年月日 昭和42年3月23日
- ◆所在地 〒923-0976 小松市矢田新町へ39-1
- ◆TEL 0761-43-0826
- ◆FAX 0761-48-3977
- ◆URL <http://www.k-igata.co.jp/>
- ◆E-mail cad-arts@k-igata.co.jp
- ◆従業員数 14人
- ◆資本金額 9,000,000円



補助金で導入したマシニングセンター



食品用金型と電機台

事業に取り組んだ経緯・背景

当社は、溶解した金属を砂型に流し込み、金属製品を大量生産する鋳造という生産手法において、中間生成物である砂型を木型・金型から大量生産し鋳造会社に納品することを主とした事業を行って来た。生産される「砂型」は文字通り砂で出来ているので、衝撃等に弱く、長距離での運搬に向かない製品である、そのため納品先の鋳造会社は地元企業が多く、売上の90%を石川県内の企業が占める。いわば当社は地域密着型企業である。

そのような中で、新しい事業に取り組むべく15年前に3D-CADと3Dプリンターを導入し、食

品用金型製作を開始した。食品用金型製作は、オリジナルの金型製作や試作を短納期で依頼されることが多いため、従来の工程を短くし社内一貫生産体制を構築することにより、品質向上・価格適正化・製作期間短縮を実現し、顧客ニーズに対応すべく本事業に取り組むこととなった。

事業内容

食品用金型の製作は①デザイン②木型製作③砂型製作④金型製作の4工程から成る。今回は、特に費用や製作期間がかかっていた木型の内製化や木型製作・砂型製作の従来の鋳造技法から2工程

を省くことを検証し、また、溶けた金属が凝固する際の物理的制限から実現できなかった、より精細なデザインを削るのに適したマシニングセンタの導入により、デザイン作成から金型製作までの社内一貫生産体制の構築を目指した。

事業の成果

マシニングセンタの導入により、木型製造の内製化に加え、木型製造→砂型製造という工程を省き、直接金型の製造が出来るようになり製造リードタイムの大幅な削減が実現した。

また、高精度な3次元形状の切削が可能となることから、高精細で自由度の高いデザインや、効率的な構造の金型製作が可能となった。

本事業で社内一貫生産体制を整え、多品種・短納期要請に対応することが出来るようになり生産性の向上を図れた。

事業の現在の状況

食品業界の中でパンやマドレーヌ・おにぎり・蒲鉾・チョコ・プリン・ゼリー等の「型」が必要な食品の金型製造にも事業を水平展開し、受注可能な製品の幅を広げていくことで、顧客数や受注量の増加を目指している。そのために想定されるクライアントに対して営業活動を行っている。



対面販売向け金型



工場ライン用金型



社屋

[得意分野]

アルカリフェノール樹脂を用いた鋳造用鋳型の製作、マシニングによる金属加工製作
3Dプリンターによる造形品製作

[主要取引先]

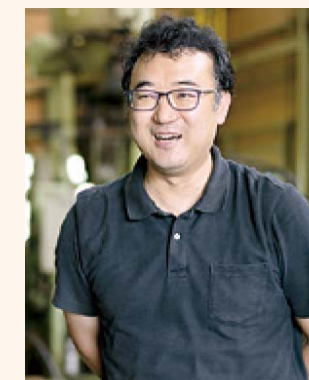
津田駒工業株式会社、石川可鍛製鉄株式会社、AGC セラミックス株式会社

[商品]

鋳造用砂型・中子、食品製造用金型

[代表者からの一言]

創業時からの事業を深化させながら、新規事業へ挑戦すること続けることで、社会に役立つ企業を目指しております。



代表取締役社長 井家 洋